



テーマ

国際理解学習

学校・園名

甲賀市立多羅尾小学校(2～6年)

講師等

公益財団法人滋賀県国際協会

実施日

平成27年6月15日

教科等

学級活動・外国語

授業
Class

多羅尾小学校の7名の児童と県国際協会との連携授業が実施されました。今回は多羅尾小学校が校外学習として大津市のピアザ淡海(県立県民交流センター)にある県国際協会を訪ね、国際理解学習をしました。まず、国際協会の仕事について話を聞いた後、日本に住んでいる外国人のことにクイズ形式で楽しく学習しました。世界には日本を含めて196もの国があり、その内193もの国の人が住んでいることを聞いて、びっくりしていました。後半は、日本語を学んでいるキルギス共和国と中国のゲストの方と一緒に『非識字体験ゲーム「ここは何色？」』で、世界の様々な国の言葉を書いたり読んだりする体験をしました。最後は2つのグループに分かれ、それぞれゲストに聞きたいことを質問し、その国の生活や文化等について学びました。

感想
Impression

児童より Impression from Children

- いろいろな言葉を知ることができ、おもしろかった。言葉の成り立ちを調べてみるのも楽しいだろうなと思いました。
- 中国やキルギス共和国の暮らしの様子を直に聞いて、初めてわかったこともあってよかったです。

学校より Impression from school

- 子どもたちは、日本そして滋賀には多くの国、地域から来られた方がいらっしゃることや、自分たちは、いろいろな国とのかかわりの中で生活していることに気づくことができました。
- 非識字体験ゲームでは、楽しみながらいろいろな言葉に触れることができた。また、私たちがそれらの言語を目にした時に内容を理解できないように、外国から来られた方も日本語を見て同じように感じられるであろうと考えることができたことは貴重な体験でした。
- 実際に中国、キルギス共和国出身の方に聞いてみたいことを質問する学習では、初めて知ることもあり、大変有意義な学習ができました。

講師より Impression from lecturer

事前の打合せで、先生から児童の様子や今回の学習でのねらいや要望を聞き取らせていただいたので、今回の多羅尾小学校の年齢構成や人数に合わせたプログラムを用意することができたのではないかと思います。小規模校ならではの仲の良い児童さんたちでしたので、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組めました。話を聞くときは真剣に聞き、アクティビティには積極的に参加され、インタビューの時間では熱心に外国人ゲストの方に質問する姿がとても素敵でした。

～メッセージ～

世界にはいろいろな国や地域があり、いろいろな言葉を使って生活されています。今回の学習では、いろいろな言葉を使ったゲーム『非識字体験ゲーム「ここは何色？」』を楽しんでもらいました。馴染みのある言葉から、全く文字とは認識できないような言葉などもあり、初めて目にする言葉の数々に驚いたり、興味を持ったりしてくださったのではないかと思います。

また、日本語を学ぶ外国人ゲストへのインタビュー活動をとおして、異なる文化や生活の様子を直接伺ったことも、とても貴重な体験になったと思います。

今回の学習を活かして、世界の国々では、どのような言語が使われているのかをさらに調べてみてください。また、外国から日本に来られた人たちが日本語を学ぶために、とても努力されていることに対しても共感できるようになったと思うので、身近な外国の方たちに、やさしく、仲良く、接してもらえるようになってもらえたら嬉しいです。